

様式第2号（第5条関係）

平成28年5月30日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

藤本光行



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期日 平成28年5月18日～平成28年5月18日まで
- 2 旅行先 東京都
- 3 目的 第100回東京財團フォーラム参加のため
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成28年5月18日 14:30~16:30
視 察 先	第100回東京財団フォーラム 議会基本条例10年東京財団モデルから考えるPart1
調査事項	栗山町議会基本条例制定から10年 改めて議会基本条例について考える
対 応 者	江藤俊昭 山梨学院大学教授 (報告者、パネリスト) 廣瀬克哉 法政大学教授 (報告者、パネリスト) 千葉茂明 「ガバナンス」編集長 (報告者、モダレーター) 中尾修 東京財団研究員 (報告者、パネリスト)
1. 調査目的 2. 調査内容 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	<p>1 全国初の議会基本条例が栗山町で制定されてから節目の10年を迎えるに開催される東京財団フォーラムに参加し、これまでの議会基本条例、これから議会基本条例について議論者の意見を聴き、考える</p> <p>2 報告1 議会報告会・意見交換会 中尾 修氏 報告2 議会への市民参加 (請願・陳情者の意見陳述) 江藤 俊昭氏 報告3 議員間の自由討議 廣瀬 克哉氏 報告4 議会基本条例10年を俯瞰する 千葉 茂明氏 パネリスト間の議論 フロア参加者からのQ&A</p> <p>4 平成18年5月18日に栗山町議会が議決制定した全国初の議会基本条例である栗山町議会基本条例が10年の節目を迎えた。</p> <p>当議会サポーターで制定当時の議会事務局長である中尾修氏が所属する東京財団が主催するフォーラムには、同じくサポーターである江藤先生、廣瀬先生も参加されるということで、改めて議会基本条例の経過と未来について考える良い機会と思い参加した。</p> <p>また、現在当議会で進めている議会基本条例の検証・見直し作業における参考になればとも考えた。</p> <p>さまざまな報告を聞いた中では、全国各自治体議会の考え方について学ぶことができた。</p>

は差異があるものの、情報公開と住民参加を謳う議会基本条例の制定数は確実に増え、現在は 700 を超えたという。

10 年を経過する中では各自治体議会特有の工夫や先進的取り組みがなされているようだが報告の内容が示している通り、議会報告会も、請願・陳情者の意見陳述も、議員間の自由討議もすべて栗山町議会基本条例には明記されている。

改めて当議会の基本条例が良く練られたものであることを感じ、先輩諸氏に敬服するものである。

今、栗山町議会基本条例の検証・見直し作業を進めているが、検証の中には到達度の低いもの（たとえば広聴の充実や議会での政策提言など）が議員一人一人の反省評価として表れてきている。

改めて今ある基本条例をよく読み込み、その趣旨に沿った実践をそれぞれの議員が成して行くことが何よりも重要であると考える。